



臨時レポート

ルラ元大統領の次期大統領選挙への出馬はより困難に

2018年1月25日
ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

- ブラジルの控訴審は、ルラ元大統領に対する第一審の有罪判決を支持しました。
- 市場は今回の控訴審の判決を好感し、通貨レアルは上昇、またボエスパ指数は史上最高値を更新しました。
- ルラ元大統領の出馬がより困難となったことで、10月に予定されている大統領選挙は混戦になると予想されます。

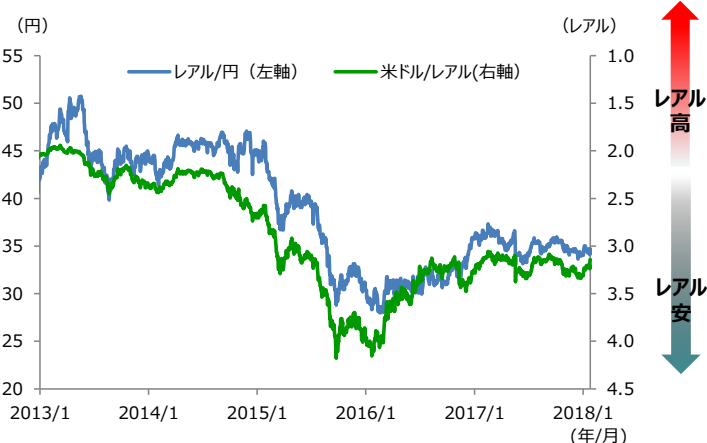
【ルラ元大統領の出馬はより困難に】

ブラジル連邦第4地方裁判所は2018年1月24日（現地時間）、ルラ元大統領に対し収賄および資金洗浄容疑での控訴審を行い、第一審の有罪判決を支持するとともに、禁錮12年1か月を言い渡しました。3名の担当判事全員が有罪判決を支持するとともに、禁錮9年6か月としていた第一審よりも厳しい内容となりました。

ルラ元大統領は10月に予定されている大統領選挙へ出馬する意欲を示しており、大統領に就任したあかつきには現政権の進める構造改革についても見直すとは表明していました。ただし、第一審、第二審（控訴審）ともに有罪となったことで、基本的に大統領選挙への出馬資格が剥奪されることから、ルラ元大統領の出馬はより困難となりました。

市場では、ルラ元大統領陣営の勢力が弱まることで現政権の改革路線が次期政権においても継続される可能性が高まったとの見方から、通貨レアルは上昇、主要株価指数であるボエスパ指数は史上最高値を更新しました。

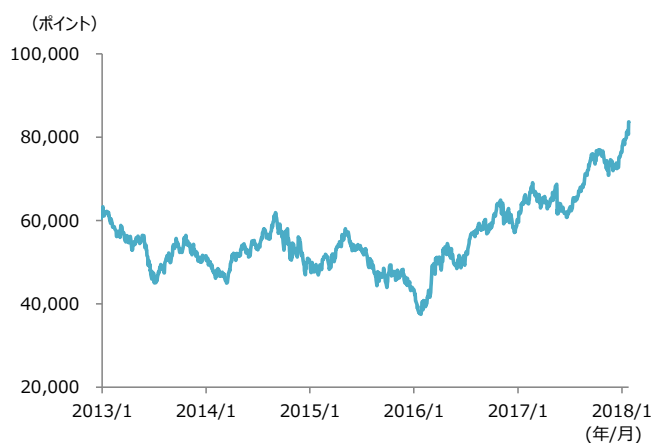
【図表】ブラジル・レアル（対円、対米ドル）の推移
（2013年1月1日～2018年1月24日、日次）



	2018年1月24日	2018年1月23日	騰落率
対米ドル	3.142	3.239	3.0%
対円	34.713	34.074	1.9%

※為替はニューヨーク時間を使用。

【図表】ボエスパ指数の推移
（2013年1月1日～2018年1月24日、日次）



	2018年1月24日	2018年1月23日	騰落率
ボエスパ指数	83,680.00	80,678.34	3.7%

今回の判決を受け、大統領選挙ではルラ元大統領を除いた候補者間での戦いとなる可能性が強まりました。

今後、ルラ元大統領が判決を不服としてさらに上級裁判所へ上訴することも考えられますが、上級裁判所が裁判の前に今回の有罪判決に対し猶予期間を設けるといった特別な判断を行わない限り出馬はできないとみられます。そのため、ルラ元大統領が出馬する可能性は低いと考えられます。

【図表】政治関連スケジュール

日付	内容
2017年7月12日	第一審がルラ元大統領に対し禁錮9年6か月の有罪判決
2018年1月24日	控訴審3名の判事全員が第一審の有罪判決を支持
2018年4-8月	大統領選挙候補者の決定
2018年8月	選挙活動開始
2018年10月7日	大統領選挙第一回投票
2018年10月28日	大統領選挙決選投票

出所：Bloomberg、各種報道を基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成

※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。



ルラ元大統領の次期大統領選挙への出馬はより困難に

【今後の見通し】

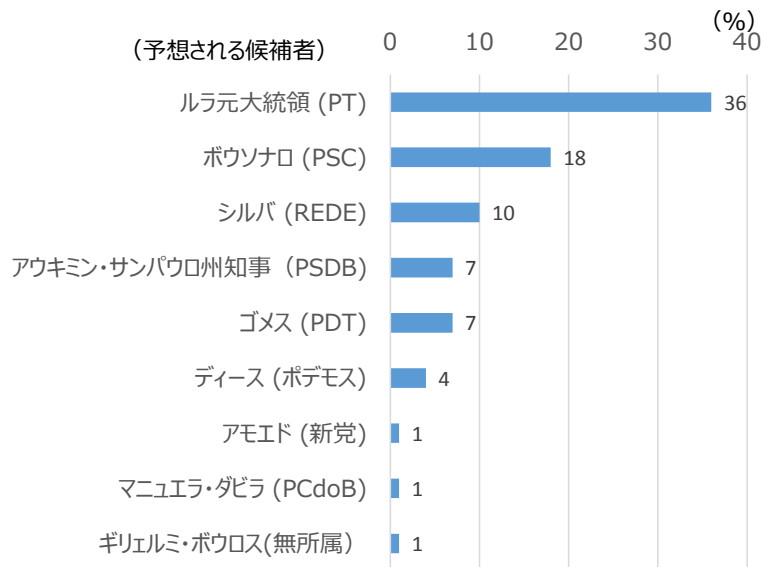
2017年11月末に実施された世論調査では、ルラ元大統領への支持が36%と第二位のボウソナロ下院議員（18%）や第三位のシルバ元環境相（10%）を大きく引き離していたことから、大統領選挙は混戦になることが予想されます。

構造改革に否定的なルラ元大統領の出馬はより困難となりましたが、有力候補の一人であるボウソナロ下院議員は「ブラジルにおけるトランプ」との呼び声もあるように、大衆迎合的な政策を掲げる等、次期政権においても改革路線が継続されるかは不透明です。そのため大統領選挙の動向は、2018年のブラジル市場の主な変動要因であることに変わりはないと見られます。

また、もう一つの市場変動要因である年金改革法案については2月に採決が予定されていますが、大統領選挙を控えて国民からの支持が得られ難い政策を実行することには異論もあり、10月の大統領選挙以降に持ち越されるとの憶測も一部では浮上しています。

もっとも、ブラジル経済については政治に対する不透明感にも左右されず堅調さが増していることや、今回の控訴審の判決はプラスとなることも期待されます。

【図表】大統領選挙 世論調査
(2017年11月29日、30日実施)



PT	労働者党	PDT	民主労働党
PSC	キリスト教社会党	ボデモス	中道左派
REDE	持続可能なネットワーク	PCdoB	ブラジル共産党
PSDB	社会民主党		

出所：Datafolhaのデータを基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成

※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。



ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限1.0%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%程度（税込）
- その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

«ご注意»

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイチエ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイチエ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会